

南スーダンにおけるスポーツを通じた平和構築。 紛争地域と社会関係資本。

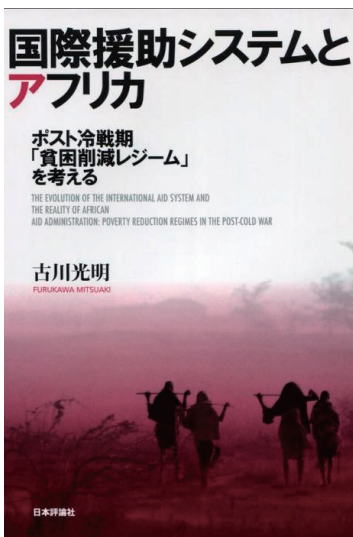


国際関係学科 古川 光明



アフリカ, 国際協力, 平和構築, 社会関係資本, 人間の安全保障,
貧困削減, SDG s, スポーツ, 国際援助システム

現代の国際社会は、紛争や暴力的過激主義、貧困や格差、感染症や自然災害、難民問題など、複雑で相互に関連する国境を越えた課題が山積している。このような国境を越えた課題が広がるなか、国際社会の安定を支えてきた基盤が揺れ動くとともに、冷戦終結後の紛争の増加、テロの脅威とともに、宗教間、民族間、そして、国民間や国家間においても信頼の崩壊が拡大している。それは、他民族への不信、他宗派への不信、国民の政府への不信など、人と人をつなぐ信頼の崩壊やネットワーク、規範といった社会関係資本が希薄となり、それが崩壊していくことによって世界が混沌とした状況へと陥っているのである。そのようななか、なぜ、南スーダンは紛争を繰り返すのか、その根本的な要因を考察することを通じて、今後の国際協力、平和構築のあり方について実現可能な提言を行うことを目指している。



長年の国際協力にかかる実務経験と研究を通じて、SDG s を促進していくことを目指しています。